

2024年2月16日

## 2023年12月期決算説明会 質疑応答

株式会社リブセンス

2024年2月16日（金）開催の「2023年12月期 決算説明会」における質疑応答の概要は下記の通りです。

【Q】 売上の増加に対して営業利益は大幅な減益となっていますが、今後はしばらく投資期が続くのでしょうか。また、投資の規模によって赤字になる可能性はありますか。

【A】 2024年度の見通しは減益となりますが、大きく3つの投資的要素がございます。

1点目はマツパバイトにおけるセールスの増員です。増員は23年も一定進めていましたが、24年は更に進めていきます。この増員が売上に反映されるタイミングは近いと考えています。

2点目はマツパバイトのシステム基盤の整備です。過去のシステム負債を解消し、継続的に成長していくための効率性や保守・開発スピードの向上を図ります。売上直結の取り組みではありませんが、この投資によって、より高効率な仕組みができると考えています。

3点目は各事業及び新規のビジネスにおける投資です。現在も各事業で様々な検証を進めており、例えば転職会議コンシェルや転職ドラフトエージェントは投資に対する収益化は比較的早いと見ています。一方で新しい取り組みである batonn や knew は当面投資が大きくなると思っています。また、その他の既存のアセットを活用した新たな取り組みでも投資を考えています。投資規模は状況に応じて調整していきます。

投資規模の調整のため、営業利益は業績予想から前後することもありえますが、赤字になるまでの投資は慎重に判断する必要があると考えています。

【Q】 昨年好調だった転職ドラフトが減収となっていますが、要因と今後の見通しを詳しく教えてください。

【A】 転職ドラフトは2021年、2022年と大きく成長しました。一方で2023年下期に減速したことは悔しい思いを持っています。

エンジニア採用の市場は引き続き魅力的で成長市場であることは変わっていないと考えています。また、市場において、転職ドラフトはサービス利用者の満足度も高く、利用者の口コミからのサービス流入もあることから、当社のポジションと優位性は変わっていないと考えています。

2023 年下期については、一部の大口顧客様において、ジュニア・ミドル層の採用を少し控えるという採用方針の変化があり、その影響を受けた形となりました。転職ドラフトはスカウトから採用まで数ヶ月のタイムラグがあるため、本来であれば早期に状況を察知して動くべきでしたが、採用数に影響が出てから状況を察知したのは反省点です。しかし、すべての企業様で採用を控えているわけではなく、全体としてエンジニアの需給は大きく変わってはいません。今後は新たな顧客群を獲得することで、この変化に対応していけると考えています。

短期的にはブレがありましたが、長期的な市場の成長性や転職ドラフトの強みにはしっかりとした手ごたえを持っており、再び成長軌道に載せていきたいと考えています。

以上